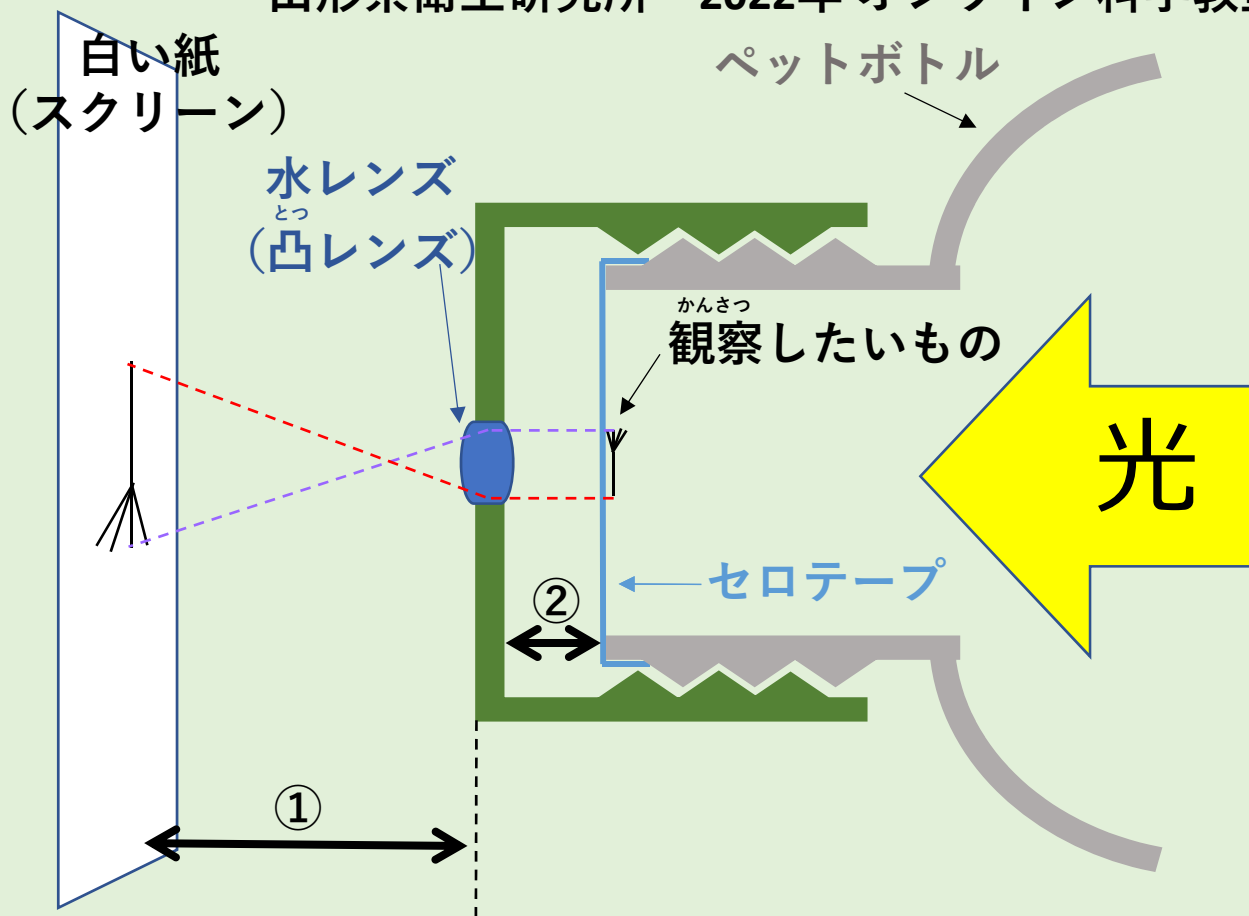


# けんびきょう ペットボトル顕微鏡のしくみ

山形県衛生研究所 2022年 オンライン科学教室



虫メガネに使われているのは、ふくらみがある<sup>とつ</sup>凸レンズです。凸レンズは、光の進む方向を変えることによって物を大きく見せることができます。また、<sup>かんさつ</sup>観察したいものがレンズからちょうどよい<sup>いち</sup>位置にあると、くっきりと<sup>うっ</sup>映し出すことができます。

①の<sup>きょり</sup>距離：長くするとスクリーンに大きく<sup>うっ</sup>映る。

②の<sup>きょり</sup>距離：キャップを回すと短くしたり長くしたりできる。

スクリーンに<sup>うっ</sup>映る<sup>ぞう</sup>像のピントを合わせる。